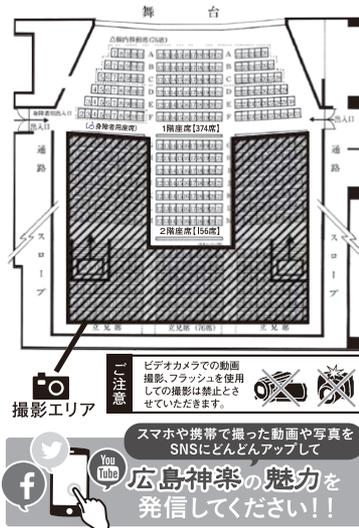


「広島神楽」定期公演へようこそ!

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアでお願いいたします。



本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。
(1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
(2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
(3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
(4) 撮影について
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※**ビデオカメラでの動画撮影、フラッシュの使用は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

7月6日のタイムスケジュール

出演：梶矢神楽団 (安芸高田市)

19:00～開演

19:05～第一幕『鈴鹿山』

(およそ 40 分)

～幕間 (休憩)～

20:00～第二幕『人身御供』

(およそ 40 分)

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。
本日の記念に是非ご参加下さい。
また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。
(舞台へは靴を脱いでお上がください。)
※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

かじやかぐらだん

梶矢神楽団プロフィール ～安芸高田市高宮町～

当神楽団は安芸高田市高宮町川根にあり、大元神楽の流れを汲んでいます。神社の古文書には江戸時代中期、現在の島根県邑智郡邑南町の羽須美村阿須那の齊藤宮司と上田の三上宮司より神職神楽を伝授されたと記されています。

以来、戦時中も中断することなく、古典演目を伝承していることが認められ、昭和29年に広島県無形民俗文化財の指定を受けました。(指定演目「鍾馗」)

現在、新しい演目が人気を集めておりますが、団員一丸となって古典演目の伝承に精進してまいります。

第一幕『鈴鹿山』(すずかやま)

摂州・鈴鹿山に鬼人が立てこもり世を乱していました。そのため、時の帝より田村將軍坂上是則に鬼人退治の勅令が下され、是則は鈴鹿山に向かいました。そして麓に辿り着き、里人に鈴鹿山の様子を尋ねると「鈴鹿山の鬼は、これより下に津野町というが、そこに長屋という大家の子で鬼丸という、寺子屋に通っている時に寺子たちに憎まれ顔に鬼という字を書かれたのが原因で悪鬼になり万人を悩ませて困っている」というのです。

是則は里人の案内してもらった通り山奥の岩屋へと進み大激闘の末、見事鬼人を征伐するという物語です。

尚、この鬼は人の目には見えないため一本の帯を引き合い誘導して舞うのが特徴です。

また、この演目は「鈴鹿山」とも「田村」とも呼ばれています。

【出演】

大太鼓	… 上田 正 幸	田村將軍坂上是則	… 大久保 俊 佑
小太鼓	… 石田 康 博	里 人	… 神田 光 太郎
手打鉦	… 道 庭 晃	鬼 神	… 行田 雅 春
笛	… 小太刀 秋貴子		

第二幕『人身御供』(ひとみごくう)

宮本左門之助は亀井戸天満宮の神様より父の仇を討つ為には三つの大難(「人身御供」「女狐退治」「坂田峠」)があるとお告げを受けます。この演目は、第一番目の難を伝える演目です。

備後の国・上名来島、下名来島村に着くと各家に白張の提灯がかかげて有ることは何か変事があるに違いないと思い、宮守齊兵衛に尋ねます。齊兵衛よると、この村には毎年人身御供として娘を神様に供える習わしがあり、今年は庄屋の娘に白羽の矢が立っているという。左門之助は、自分が身代わりになって退治してやろうと齊兵衛に告げます。そのことを庄屋夫婦に伝えると夫婦は喜びました。

そして、左門之助を櫃に入れ、神前に供えました。すると予期したとおり狒々が現れ左門之助と格闘となり、左門之助は狒々に刀を奪われますが狒々をだまして刀を取り返し、見事に狒々を退治するという物語です。

【出演】

大太鼓	… 長 尾 良 文	宮本左門之助義昭	… 柴 野 竜 二	齊 兵 衛	… 上田 正 幸
小太鼓	… 徳 物 一 則	高田屋嘉平	… 道 庭 晃	狒 々	… 行田 雅 春
手打鉦	… 石田 康 博	嘉平の妻	… 柴 野 利 成		
手打鉦	… 田 中 直 也				
笛	… 神田 光 太郎				

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。